

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(3年目)案件:2008年1月分

| 番号 | 実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント |
|----|--|
| 1. | 小樽商工会議所 (OTARU—ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト) |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月11日(金)参加事業者によるワーキンググループ会議を開催  <p>香港そごうにて実施する展示会の準備状況および展示会概要を説明するとともに、小樽ガラスの新たな魅力を伝える試みとして、2月に開催される小樽雪あかりの路イベント期間に合わせて、照明デザイナーが小樽ガラスを光で演出する展示会をNHK札幌放送局と共催にて実施することを決定した。</p> <p>決定を受けて、NHK札幌放送局および照明デザイナーからの説明および展示方法等についての打ち合わせを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月16日(水)～1月20日(日)香港そごうにて「小樽ガラスの世界」展を実施 <p>香港初となる展示会を、香港そごう16階そごうクラブを会場に実施し、期間中、1,387名の来場があった。また、来場者に対する小樽のガラス工芸品に関するアンケート調査も実施し、427人より回答を得られた(調査結果は現在集計中)</p> |
| | <p>＜担当者のコメント＞</p> <p>＜香港での展示会について＞</p> <p>香港は北海道を訪れる外国人観光客が最も多い地域で、小樽にもたくさんの方々を訪れ、海産物はじめガラスやオルゴールなど小樽産品は人気がる。こうした背景もあり、今年度事業を検討する段階において、参加事業者の方々は、早くから直接作品を観てもらえる展示会をぜひ香港で行いたいとの希望を持っていた。</p> <p>これまで小樽商工会議所として接点がない地域でしたので、展示会場探しは時間がかかったが、香港そごう様が会場を提供していただけることとなったほか、在香港日本国総領事館様、JETRO香港様の後援、香港日本人商工会議所、香港日本人倶楽部、香港日本文化協会(Japan Society)、日系雑誌・新聞社による周知など現地の日本関係機関の皆様から多くのご協力をいただけたことは、接点のない地域で展示会を行うにあたって非常に大きな助けとなった。</p> <p>展示会場となったそごうクラブは、同じ建物内の百貨店フロアとは全く違った雰囲気のある会員制クラブ(フロアの出入りは自由)で、当初集客に不安を感じたが、事前の周知効果が大きく、小樽ガラスに興味を持った方に多くお越しいただくことができた。会場では、展示品を購入したいという方や近々小樽へ旅行するので販売場所を教えて欲しいという方がたくさんおられたほか、香港そごう様にも小樽ガラスに関心を持っていただき、百貨店での小樽ガラス販売についてのお話もいただいた。また、来場の方々とのお話の中で、展示品に対する色の使い方やデザイン、価格設定など香港人から見たガラスについてのアドバイスをいただいた。</p> <p>実際に作品を持っていき、その作品について現地の方々の生の声を直接聞くことができるこうした海外展示会は、非常に有意義なものだとあらためて感じた。</p> <p>＜小樽での展示会について＞</p> <p>今回は、小樽ガラスの新たな魅力を伝えることができればとのことから、多方面で活躍されている照明デザイナーの東海林弘靖さんとのコラボレートによる展示会をNHK札幌放送局との共催により開催することとなった。小樽のガラス作家が創り出した作品を光が透過や屈折、反射することでテー</p> |

ブルに映し出される様々な表情を見てもらうものだ。普段は食器として使用しているガラスが、光を当てることにより一つのインテリアにもなりえます。こうした小樽ガラスの違った一面を広く多くの方に伝えることで、小樽ガラスの多様性や付加価値を高めることができるのではないかと考えている。
 展示会案内HP: http://www.nhk.or.jp/sapporo/event/20_otaruglass.html

2. 旭川商工会議所（旭川家具ブランド確立推進事業）

<今月の事業実施状況>

1月の実施状況は、本事業の目標であるドイツケルンメッセ出展した。一週間の期間中、当ブースへの来場者は9,720名で前年対比(5,419名)で約180%の結果となった。

2008年のケルンメッセは、独国内の市況の低迷と他メッセへの分散の理由から、出展社及び来場者の減少が懸念されていたが、当ブースへの来場者の大幅な増加と独国内で著名なインテリア雑誌「シェーナボーネン」のニュークラシックアワード賞を2007出展作品「ソラ」が受賞するなど話題を集め予想を超える成果があった。

なお、今回出展した作品は引き続きケルン市内にある「カンディハウスヨーロッパ」で展示をしている。

<担当者のコメント>

2008ケルンメッセ全体の来場者が減少している中であって、当ブースへの来場者が4,301名の増加があったことは3年間出展を続けたことでドイツ国内に於いて一定の評価がなされ市民権を得たと思います。

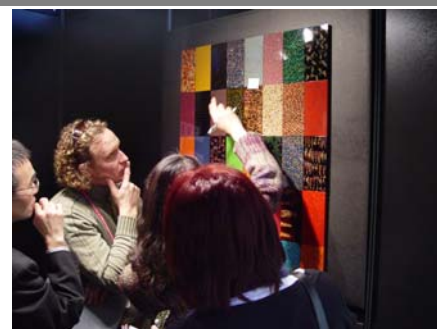
また、2007年に出品した「ソラ(飾り棚)」がドイツのインテリア誌「シェーナボーネン」の2008年世界のインテリア50選の一つに選ばれニュークラシックアワード賞を受賞できたことは、旭川家具が目指している「デザインの特化」が世界でも通用する証明として今後に期待がもてる。

ただ、収益面ではまだまだ採算ベースには追いつかず、今後の課題となっている。

3. 弘前商工会議所（世界へ発進！津軽『うるおい、うるわし』事業プロジェクト）

<今月の事業実施状況>

1. 1月9日(水) 16:00～21:00
メゾン・エ・オブジェ出展詳細打合せ
2. 1月21日(月)～2月1日
メゾン・エ・オブジェ出展のためパリ出張
 - 1月23日～24日 ブース設営
 - 1月25日～29日 会期
 - 1月30日～31日 パリ市場調査・商談



4. 東通村商工会（飛来する未来へ!!『ひがしどおり海山喰(か)さまい創出プロジェクト』)

<今月の事業実施状況>

<第5回プロジェクト専門部会の開催>

1月22日(火)午後6時より東通村商工会館に於いて、第5回プロジェクト専門部会を開催した。部会では、マーケティング戦略立案について協議し、五十嵐アドバイザーが協議内容をまとめて2月の報告会にて報告することに決定する。

また、販売体制・組織づくりの検討については、具体的な選択肢から協議し最終的に1つの方向に絞る。報告会では、実行委員会に協議結果を報告することで決定した。



5. 山形商工会議所（山形発「カロッツェリア型ものづくり」のブランド展開）

<今月の事業実施状況>

「山形工房」のブランド名で、フランス・パリで開催されたインテリア国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に3回目の出展を果たした。出展ブースは、見本市の中でも最もグレードの高い「インテリア・シーン」コーナー。鋳物ティーポット、木製の椅子・コートハンガー、絨毯、ペレットストーブなど20品目が展示され、世界中のバイヤーやジャーナリストから高い評価を受けた。

6. 会津若松商工会議所（BITOWA FROM AIZU）

<今月の事業実施状況>

1. 会 期 2008年1月25日(金)～29日(火) 9:30～19:00(最終日:18:00)
2. 会 場 フランスパリ「パリノール見本市会場」
3. 出展ブース インテリア・シーン ホール名:Hall 5B
4. 出 品 物 BITOWA 新商品等(16アイテム)

海外販売代理店のアテンドにより、今後の欧州拠点が確保出来た事と、商品的にも確かな評価を得ることができた。

～～今後の予定～～

JYAPAN ブランドエキジビジョン in ギフト・ショー出展

1. 会 期 2月5日(火)～8日(土) 10:00～18:00 (最終日:16:00)
2. 会 場 東京ビックサイト 東4ホール

「伝統産品輸出シンポジウム」塚本デザイナー講演及び商品展示

1. 日 時 2月14日(木) 14:00～17:00
2. 会 場 京都全日空ホテル2階平安の間
3. 内 容 ・「欧州市場の和のニーズと商品開発～BITOWAの事例～」
講師:Kanae Design Labo 代表 塚本カナエ氏(当委員会専属デザイナー)
・BITOWA 商品展示

「BITOWA 東京展示会」＝国内凱旋発表・展示会＝

1. 会 期 2月19日(火)～23日(土) 11:00～19:00 (最終日:13:00)
2. 会 場 ギンザギャラリーハウス(東京都中央区銀座2-5-2)
3. 内 容 BITOWA新商品の国内発表

7. 川口商工会議所（「Casting Innovation 新・川口鋳物の創造」）

<今月の事業実施状況>

○ JAPANブランドプロジェクト委員会

第8回

日 時 1月17日(木)午前10時～午後12時15分

会 場 川口商工会議所 会議室

参加者 15人

議 題 ・最終製品について

・記者会見について

・広報ツールについて

○ 諸会合・取材・展示会

① メゾン・エ・オブジェ2008

期 間 1月25日(金)～29日(火)

会 場 フランス パリノール見本市会場


参加者 10人


内 容 製品展示


② 事業打合せ




| | |
|-----|--|
| | <p>日 時 1月7日(月)午後1時～午後2時 会 場 そごう川口店 参加者 7人 内 容 パイロット販売について</p> <p>日 時 1月21日(月)午後1時30分～午後2時30分 会 場 そごう川口店 参加者 4人 内 容 パイロット販売について</p> |
| | <p><担当者のコメント> 製品の最終確認、メゾン・エ・オブジェ 2008 への出展・パイロット販売へ向けた取り組みを行なった。 メゾン・エ・オブジェ 2008 展示会(フランス・パリ)においては、好評であったと感じた。 また、同じフロアにルクルーゼ(フランス)やストーブ(ドイツ)などの鍋メーカーが出展し、特にルクルーゼは多くの関係者が本ブースに訪れ技術・デザインについて意見を求めてきた。</p> |
| 8. | <p>三条商工会議所 (SANJO発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況> 1.展示会出展準備完了 2月8日～5日に開催されるアンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2008 出展に向け最終準備。 1月15日(火)に展示ブースの確認のため委員会開催。 展示装飾、ディスプレイ方法などについて参加者より意見を伺う。壁面は代表的な製品写真をシンプルにしてこれまで同様に黒を基調としたデザインを決定。各社の展示方法についてコーディネーター役の松丸氏より指導を受ける。盗難の心配があるためアクリルケースを製品にかぶせるが固定方法について危険がないような配慮が必要。卸向け、小売店向けの価格設定など依頼。 ギフトショー出展の各社製品をセレクト。アンビエンテ展示会の出発と重なるため事務局のみギフトショーにアテンドすることになった。 1月21日カタログがようやく完成。展示品とカタログを航空便で搬送完了。 展示会のアテンドについては参加企業10社中8社が現地で対応することになり、これまで以上の反応に期待している。</p> |
| 9. | <p>燕商工会議所 (“enn”ブランド育成支援事業)</p> <p><今月の事業実施状況> ニイガタ IDS デザインコンペティション 2008、会期1月24日から27日、「enn」ブランドの平成20年度開発商品「片口」「ぐい呑」を出展。</p> |
| 10. | <p>加茂商工会議所 (桐を中心とした加茂木工ブランドの海外市場販路確立プロジェクト)</p> <p><今月の事業実施状況> 【検討内容】 ・1/23 1. 新規取引先について 2. 外コーディネーターの選定について ・1/31 ①海外取引について(現状と課題) ②イス取扱店との契約について 【今後の予定】 H20年2月8日～12日 フランクフルト・メッセ・アンビエンテ「COOL J」及び「sozo_comm」に出展。見本市WEB上にデータを公開。</p> |
| | <p><担当者のコメント> フランクフルト出展に向けて、具体的な準備を進めた。 現地マーケティングだけでなく、貿易関係まできめ細かなアドバイスができる海外コーディネーター</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>が必要。商品価格の設定・決済条件等、本格的なビジネスとしての体制固めのため、参加企業を含めた研修を行った。</p> <p>本年度事業のとりまとめと同時並行に、4月以降の事業体制の準備が急がれる。</p> |
| 11. | <p>岡谷商工会議所（岡谷絹く 絹(あしぎぬ) >製品のブランド化事業)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月10日(木)～14日(月)まで市内商業施設の催事場にて「シルクのまち岡谷 岡谷絹ハンドクラフト展」を開催した。これは、シルク岡谷ふるさと産業研究会、市、商工会議所、市観光協会、岡谷絹ブランド推進協議会が主催したもので、地元及び近隣市町村の人たちに岡谷市の歴史的背景のなか受け継がれてきた製糸の紹介や、岡谷絹の製造工程をDVDで紹介、また数百点を超える岡谷絹製品、JAPANブランド育成支援事業で開発された新たな製品も「JAPANブランドコーナー」を設置し展示された。</p> <p>会場には絹工房で使われている手織機が持ち込まれ、実演もあわせて行われた。期間中、620名の方が来場し岡谷絹を大いに紹介することができた。</p> |
| 12. | <p>飯田市鼎商工会(「飯田水引」アートのブランド確立)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>○1月12日 第6回プロジェクト委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メナード美術館の展示について具体的内容協議。 ・世田谷ものづくり学校の展示について展示内容の協議 ・パンフレット作成状況確認 ・ホームページの内容協議 ・ギフトショー商品確認 <p>○1月25日(金)～27日(日)までメナード美術館(小牧)にて展示会開催(写真はその一部)</p>  |
| 13. | <p>富士吉田商工会議所（海外展開ブランド支援事業『プロジェクトfuji faconne(フジファソネ)』)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月30日(水)31日(木)にフランス リールで開催された TISSU PREMIER 展に出展。2009年春夏ものをターゲットにしたテキスタイルとプレゼンテーションのための洋服を数多く出展。</p> <p>○展示会概要 来場者数:5,077人(2日間) 出展国:13ヶ国 出展ブース:206社</p> <p>○Fuji-Façonné 出展概要 出展生地:6グループ313点 トレンドフォーラムノミネート:8点</p> <p>○引合状況 引合会社数:37社 引合点数:248点</p> <p>今年30周年を迎えることになる今回の TISSU PREMIER 展では、これを記念していくつかのイベントが行われた。このイベントでは選ばれた数少ない出展者のみの製品によるキャットウォークが行われ、Fuji Façoné の製品2点がセレクトされこれをトップモデルが着用し披露された。</p> |
| 14. | <p>福田町商工会</p> <p>(FUKUDEコード・ルネッサンスMISSION—コーデュロイ(solbrevaco)事業本格始動—)</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p><担当者のコメント></p> |
| 15. | <p>一宮商工会議所（JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業)</p> <p><今月の事業実施状況></p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>2月に、パリ・ミラノで有名ブランドに提案するための、2009年春夏 素材開発を参加企業11社より納入していただいた。</p> <p>1/29(火)</p> <p>今後のJBブランド構築事業につきまして、4者会議を開催した。</p> |
| | <p><担当者のコメント></p> <p>2月の提案に向けて、各社素材開発が完了した。</p> |
| 16. | <p>有松商工会（創造と進化～有松鳴海絞りブランド）</p> |
| | <p><今月の事業実施状況></p> |
| | <p><担当者のコメント></p> |
| 17. | <p>高山商工会議所（『飛騨春慶のある生活提案』によるブランド育成事業）</p> |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月9日カタログ・陶器花瓶、照明スタンドを航空便で発送する。 高山市役所においてプレス発表を実施する。</p> <p>1月15日実行委員会を開催(高山にて)パリ出張者全員が参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張者スケジュールの確認 ・商品運搬状況、会場プラン、搬入搬出、通訳 ・接客マニュアル、アンケートの取り方、プライスリスト(ドルとユーロ2本立て)、ハンドキャリー内容 <p>1月22日、成田と名古屋に分かれて出張者12人が出発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/22日午前9時運送会社より、パリ会場搬入が23日午前9時の予定であったが、同日12時頃になる旨、遅延の第1報が入る。 ・23日遅延に関する第2報は24日午後2時頃になるとのことで、船はフランスのリハーブル港に着いているので荷卸が遅れていることが理由であった。 ・24日第3報は、船はリハーブルに着いておらず、まだイギリスにいる。いつイギリスを出港するかわからないと、連絡のたびに情報が悪化するばかりで最悪の状況となった。 ・結果として船は、28日にやっとリハーブルについたが、現地出張者の判断として我々のコンテナは港からそのまま日本に返送することを決断した。 <p>メゾン・エ・オブジェの会期は25・29日であり、29日1日の展示のために港からの陸送費用その他を考慮して最終判断とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報がはじめからの確なものであったら、我々の対応ももっとすばやく会場準備ができたものをついぞ愚痴になってしまうが、このような状況下でカタログが別便で着いていたこと、カタログ写真のデータを活用して写真パネルを急遽作成し、一部手持ちで持参した商品の展示と、同じくアンケート用紙及びプライスリストを活用して、接客用の椅子・テーブルを借用するなど、会場を設営して接客態勢を整えた。 <p>結果、アンケートについては210件を獲得した。商談については参加各社に問い合わせをしているが、出張者が2月1日に帰国したばかりであり、現状はまだ掌握ができていない。</p> |
| |  |
| | <p><担当者のコメント></p> <p>このたびの、メゾン・エ・オブジェ パリへの出展に関しては、3回目ということもあり周到な準備を行い向かった結果が、上記のような不祥事に見回れ、関係者全員の落胆は計り知れないものがある。その中であって、春慶塗の小箱がスイスのホテルで500個の引き合いがあったり、美濃和紙の織物に多くのお客様からの商談があり、現地出張者がくじけずがんばった様子を如実に窺い知ることができる。</p> |
| 18. | <p>紀北町商工会(JAPANブランド ザ・たべきり)</p> |
| | <p><今月の事業実施状況></p> |
| | <p><担当者のコメント></p> |
| 19. | <p>輪島商工会議所（「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—）</p> |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月15日 平成19年度新商品の箱を選定及び発注。</p> <p>1月18日 平成19年度新商品の中敷を選定及び発注。</p> <p>12月12日から16日まで開催したNYの企画展の報告の取りまとめ。</p> <p>平成19年度の初期報告の取りまとめ。</p> |

| | |
|-----|---|
| 20. | 能登町商工会(『能登の醸し』ブランド発信事業) |
| | <p><今月の事業実施状況> 2月にNYにてマーケットリサーチを実施する。 昨年のNYでの事業を更に膨らます形でNYのレストランを訪問して、シェフやマネージャーの方々と意見交換をする。 例えば、料理法に関するアイデアはもちろんのこと、ボトルデザイン、容量などについて話し合う予定。 このリサーチは今後、アメリカでの展開のみでなく、日本でも日本料理以外のレストランに売り込むことを考えればとても役に立つものと思われる。</p> |
| 21. | 山中商工会(YAMANAKAブランドの確立) |
| | <p><今月の事業実施状況> 1月9日 NUSSHA メンバー会議(7人出席) 新商品開発の方向性、東京国際ギフトショー出展について 1月10日 メゾン&オブジェ出展サンプルとカタログをローマの代理店宛に発送 1月22日 メゾン&オブジェのアテンド員出発 1月22日 漆塗り室内装飾パネル試作について懇談会。試作方法を検討 1月25日 メゾン&オブジェ 2008 出展(1/25~1/29 パリ、ノールヴィルパント展示場 NUSSHA 商品) 1月28日 東京国際ギフトショー出展 NUSSHA 商品発送 1月29日 メゾン&オブジェ、アテンド員帰国</p>  |
| 22. | 鯖江商工会議所 (めがねのメッカ福井県鯖江市[THE291(フクイ)]のブランド展開) |
| | <p><今月の事業実施状況> 第4回戦略委員会でプロモーションの意見を求めた。 ・田中氏の提案したものが時間切れとなっしまい、代わりに雑誌広告を今年度中に行うことになった。 ・他に2月にギフトショー(2/5~8)、WOF(2/13~15)、EOF(2/29~20)に出展することを発表。 ・各企業が新モデルを開発するため、デザイン改良費と試作品費の予算を付けた。</p> |
| | <p><担当者のコメント> ブランドを作るのはそう簡単じゃないが、各メーカーが一緒になって行うのはやはり無理なのか。メーカー側が消費者調査をやってデザインをどう変えて作っていくか。調査のどの部分を活かしたものにできるかが分からない。という議論もあった。</p> |
| 23. | 京都商工会議所 (KYOTO PREMIUM) |
| | <p><今月の事業実施状況> 1/16 第6回ワーキング委員会、出展団・視察団事前説明会開</p> |

| | |
|--|---|
|  | <p>1/23～1/31 KYOTO PREMIUM/メゾン・エ・オブジェ出展 団派遣（参画事業者9社から各1名が参加）</p> <p>1/25～29 メゾン・エ・オブジェ 2008 出展 1/26～2/1 パリ・ロンドン視察団派遣（計7名）</p> |
| <p><担当者のコメント> <メゾン・エ・オブジェ出展を終えて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に比べて、出展ホールへの来場者数が全体的に少なかった。また、大型店舗やチェーンストアのバイヤーも少なく、こぶりの小売店やセレクトショップ等からの引き合いが多かった。 ・ リピーター客が増え、知名度は少しずつ高まってきたように感じた。 ・ 海外ディストリビューターの発掘には至らなかった。 | |
| <p>24. 京都府商工会連合会（丹後テキスタイル）</p> | |
| <p><今月の事業実施状況></p> | |
| <p><担当者のコメント></p> | |
| <p>25. 淡路市商工会（～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランド確立）</p> | |
| <p><今月の事業実施状況> ◎Kosai Aroma 委員会 1月19日（土）今年度の事業全体の予算管理についての他、NY展示会でのスケジュール及び役割分担の確認、残り期間での試作品や広報活動について協議する。 ◎試作品開発 「あわじ島の香司」ロゴマーク入りのオリジナルライターが完成。新たにお香や香立等と共に「あわじ島の香司」ブランドの確立を目指す。 ◎展 示 会 ニューヨーク国際ギフトフェア出展に際しアメリカ現地のスタッフと最終的な打合せをすると共に現地でのスケジュール及び役割分担の確認を行う。東京ギフトショー「JAPAN BRAND エキジビション in ギフトショー」の出展準備も終える。 ◎広 報 ・リーフレット等印刷物の作成及び増刷に伴い内容を最終確認する。 ・HPのブログコーナーの活用について協議する。</p> | |
| <p><今月の事業実施状況> 事業期間も残りわずかとなり東京ギフトショー及び今年度のメイン事業となったニューヨーク国際ギフトフェアの出展が2月に控えている。出展準備もほぼ終え、特に今回のNY展示会については何とか成功させて今後のアメリカ市場への更なる発展的な事業展開につなげていきたい。</p> | |
| <p>26. 松江商工会議所（NEW松江菓子海外市場開拓プロジェクト）</p> | |
| <p><今月の事業実施状況> (1)松江市長表敬訪問 昨年末に行ったNYイベントと当プロジェクト事業経過報告 (2)1月9日 実行委員会 NY「ザイヤ」との今後の取引促進策について、国内PR活動について協議を行った。 (3)1月21日 実行委員会 NY「ザイヤ」との交渉結果報告と今後のNY事業の進め方について、また、地元の食のイベント「暖談グルメ祭」への参加についても協議を行った。</p> | |
| <p><担当者のコメント> 今月は、NY「ザイヤ」との交渉を行うとともに今後の展開についても協議を行うなど、常設販売に向けた協議を行った。</p> | |
| <p>27. 府中商工会議所</p> | |

(FUTON—STYLE による府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業))

＜今月の事業実施状況＞

1. 第7回ワーキンググループ会議

とき 平成20年1月18日(水)午後1時30分～

ところ 府中商工会議所

内容

- アメリカ市場調査(11月14日～)の報告
アメリカのインテリアデザイナー、小売店を訪問し市場調査を実施。
その調査状況の報告をする。
- ラスベガス展示会について
・効果的な商談方法を協議する
- ラスベガスマーケット展示会帰国報告会の開催について
・2月6日(水)に開催予定
- 第3回JAPANブランド推進委員会の開催について
・2月19日(火)に開催予定
- 来年度の事業計画・補助金について
・地域資源活用プログラムの補助金ほかについて説明

2. ラスベガスマーケット展示会出展

とき 平成20年1月29日(火)～2月1日(金)

ところ MGM Grand(ラスベガス)

内容

- 展示会はラスベガスの World Market Center(常設展示場)と MGM Grand で4日間開催。出展者は800社、来場者は5万人。
- 当所からの出展は、前回同様、佐々木木工(株)、松岡家具製造(株)、(株)松創の3社。
アメリカ市場に合った「和」テイストを盛り込んだ高級感溢れる新作家具を計28点出展。
- 期間中の商談実績としては、成約2件、商談中が12件、今後商談が見込める件数が166件。
- NYのデザイナーとのコラボレーションによる商品開発の話が進み、今後、日米で共同販売する商談が成立。
- ベッドやミニ茶室の「庵」に高い評価が集まり、数社と商談が継続している。

＜担当者のコメント＞

・展示会では、継続して出展したおかげで、来年度につながるバイヤーやデザイナーと商談ができた。

今後は、販路を拡大できる仕組みを作っていきたい。

28. 熊野町商工会 (「FU-DE」世界的ブームの創出・FU-DE で日本の四季の綾を世界に！)

＜今月の事業実施状況＞

＜担当者のコメント＞

29. 福岡商工会議所 (21世紀博多織 JAPAN ブランド)

＜今月の事業実施状況＞

15日、ワーキングを開催。HAKATA・JAPAN のインテリア新製品開発・広報ツールの進捗確認および東京ギフトショーへの出展について協議。その他販路拡大のため、伊勢丹の贈答カタログへの掲載、日本航空の通販ルート活用のため JALUX のカスタマー向け郵送物への折込みなどを引き続き進める。バーバラ寺岡氏とのコラボ開発商品で2月2日から開催のテーブルウェア・フェスティバルに参加を準備。

21日、ワーキング開催。事業報告書の取りまとめについて協議。引き続き幹事会を開催。パリの代理人との連絡が困難になっている事情を報告し、現地受け入れのアレンジも進まず欧州市場開拓

にメンバーを派遣することを断念することにつき了解を得た。ドミニク・シロ氏と今後直接コンタクトを取り、今年度納品した生地を使ったドレスが完成を待ち、その画像を入手することとした。

23日、プレスリリースと会頭・副会頭記者会見を行い2月13日の成果発表会への取材依頼を行った。その後メディアへの個別のプレゼンを行い、地元全テレビ局・ケーブル局が取材に来るとなった。

28日、ワーキングを開催し、事業報告書作成へ向けて協議した。

その他、1月中はゼクシィ、博多織総合ドレスカタログの制作に関し取材・校正などを進めた。

30. 大川商工会議所（大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業)

＜今月の事業実施状況＞

- 1月9日 CDが納品され、パリ展示会参加者へ配布。
 - 1月10日 デザイナー、設営業者は現地到着。
 - 1月11日 大川出発、同日、ドイツ:デュッセルドルフ到着。現地では設営作業に入る。
 - 1月12日 荷物の到着、その後、会場設営と展示品の開梱、組み立て。
 - 1月13日 展示品の設置、レイアウト、照明・電気関係の確認。
 - 1月14日～20日 ケルン国際家具見本市。
 - 1月21日、22日 搬出・撤去作業。
- 帰国後、商談があった相手先への見積提出等の作業を行う。



＜担当者のコメント＞

今回の出展では多数の来場者があり、十分なPRができた。

来場者の主催者公式発表:107,000人(130カ国)

商談については、具体的な商談件数76件(見積の提出)の商談がなされた。

インタビューシート記入者数205社。

また、商品の反応としてはおおむね好評であり、特に技術面での関心は高かった。

展示会では、商社の協力によりスムーズな運営ができたので、今後とも商社の活用は必要不可欠であると感じた。

31. 鹿児島県商工会連合会（薩摩が誇る美と技のコラボレーション）

＜今月の事業実施状況＞

- ・平成20年1月25日～29日までの5日間、パリのMAISON&OBJET2008に出展、今回の出展事業者は薩摩切子1社・大島紬4社、出展数は薩摩切子が45点・大島紬が84点、合計129点を出展。薩摩切子・大島紬の海外における販路拡大を目的にバイヤー・代理店等と交渉した。具体的に取引をしたいと申し出たバイヤーが数社と代理店1社、また、フランスのデザイナーより是非切子のデザインをさせて欲しいと申し出があった。

＜担当者のコメント＞

- ・MAISON&OBJET2008のHall3 la table(テーブルウェア)のコーナーに出展したがHall3はテーブルウェアのコーナーであるため、薩摩切子の出展には適したコーナーであったが大島紬はテーブルセンター等テーブルウェアに適する商品を造っていったが無理があったのではないかと思えた。大島紬については、Hall2のテキスタイルやHall7ナウのコーナーに出展できればいいのではないかと感じた。

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(2年目)案件:2008年1月分

| 番号 | 実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント |
|----|---|
| 1. | <p>札幌商工会議所(スイーツの街・札幌 ブランド発信事業)</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>＜担当者のコメント＞</p> |
| 2. | <p>盛岡商工会議所 (南部鉄器フォ・ユーロ・ブランディング事業)</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>○昨年11月から、本事業の新製品デザインを依頼しているタウノ タルナ氏の検証を受けていた試作品(18年度に試作した11アイテムのうち、8月に送らなかった3アイテムとホーロー加工の代替となる塗料を塗布したサンプル)がフィンランドから返送され、その結果がフィードバックされてきた。</p> <p>○タウノ氏から示された検証結果、改良点、デザインの修正等に基づき、岩手県工業技術センターで光造型機による原型作成の準備作業を継続している。</p> <p>○改良点を反映させた本年度試作品について、それぞれの工房で試作の準備を継続している。</p> <p>○パッケージデザインの基本デザインを発注した。</p> <p>○タウノ氏から示された新製品共通のシンボルマーク素案を岩手県工業技術センターで数種類図案化し、タウノ氏のもとへ送って助言を求めている。</p> <p>○国内のプロの料理人から本事業の試作品について評価を受けるため、銀座のレストランシェフと試作品の評価方法等についての検討を行った。専門家就任を依頼する料理人は、岩手県の食材使用で協力を得ている「いわてフレンドリーレストラン」の中から、本事業への関心が高く、岩手県の食材利用に積極的なオーナーシェフに依頼することとし、銀座の店舗を訪問して本事業の専門家としての参画を要請。専門家就任並びに実店舗での使用による検証などについて承諾を得た。</p> |
| 3. | <p>泉佐野商工会議所 (泉州こだわりタオルブランドの構築)</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>泉州こだわりタオル展</p> <p>1月8日(火) 泉州こだわりタオル 東京展でのコラボイベントの実施について COTTON USA との打合せを行った。コラボイベントでは、三船美佳氏との、泉州こだわりタオルバスローブを監修いただき、当日発表の予定である。</p> <p>1月17日(木) 泉州こだわりタオル 東京展の会場である、東京・丸の内ビルとの打合せを行った。</p> <p>PR広報 泉州タオルのPRのための、ラベル作成について調整を行った</p> <p>＜担当者のコメント＞</p> <p>泉州こだわりタオル 東京展示会は、泉州タオル産地にとって、東京での本格的な展示会は、実質的に初めてであり、また、会場も東京駅前でありCOTTON USAとのコラボイベントもあり「泉州タオル・泉州こだわりタオル」のアピールになるものと期待をしている。</p> |
| 4. | <p>神戸商工会議所 (神戸ブランドMeets上海)</p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>日 時:1月26日(土)16:00～19:30 場所:上海・正大広場9F</p> <p>神戸からの参加企業:(ショー出展)株イズム、(株)ビッキー、(有)ケイアンドエム、(株)ワールド (ブース出展)神戸レザークロス(株)、(株)ワンダーフォー、ゴンチャロフ製菓(株)</p> <p>来場者数:約 2,000 名(公安の指導により、500 名程度が会場に入れずに帰っている)</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>久光百貨の視察 日 時:1月26日(土)10:00~12:00 参加者:神戸商工会議所 中西 均、関口幸明、藤田敦大、神戸市 真田 尚、神戸市南京事務所 中野 靖、銭 驚雷 内 容:来年度検討している「神戸ブランドショップ」開設の候補地としてあがっている久光百貨について、除晨(じょ・しん)高級課經理の案内で、店内を視察。久光百貨は、高級家電売り場や英会話や音楽のスクールがあるなど、富裕層(現地の平均年収が50万円に対して300万円以上)をターゲットにしている様子がうかがえる。また、現地では珍しい、地下の食料品売り場や試食コーナーもある。神戸からは、(株)ワールド、神戸レザークロス(株)、ゴンチャロフ製菓(株)が進出している。</p> |
| | <p><担当者のコメント> コレクションの会場には、SMGをはじめとする現地マスコミ関係者や、久光百貨などの富裕層をターゲットにしたデパートの関係者が来場していた。来場した現地の女性のインタビューでも神戸ブランドの評判は高く、現地TVや雑誌から取材のオファーを受ける光景が多く見られた。メディアの取材内容や現地で実施したアンケート内容をもとに、来年度実施に向けて検討している「神戸ブランドショップ」開設の候補となる現地百貨店との連携協議に活かしたい。</p> |
| 5. | <p>菟田野商工会 (UTANOブランドの創出~鹿革を活用した地域ブランド構築事業)</p> |
| | <p><今月の事業実施状況> ○1月30日午前・第5回服飾雑貨部会開催 ・展示会出展報告 ※JFW JAPAN CREATION 2008 AUTUMN / WINTER 平成19年12月5日(水)~7日(金) 東京都江東区有明 東京ビッグサイト東館 服飾素材として、「鹿革」の柔軟性、保温性をPRし体感してもらう目的で出展する。 ○鹿革素材試作品として①ライダーズジャケット(女性用)②ノーカラージャケット(女性用)③スタジアムジャンパー(男性用)の3点及び④鹿革製“帽子”・・計6点「革と天然素材“インドネシアパナマの天然草”との編み込み。鹿革の吟面、スエード仕上げ面との組み合わせ」など特徴を生かした試作品の展示を行う。 また、来場者・商談者向けの広報媒体、パンフレット、アプローチブック、鹿革サンプル帳を作成配布する。 来場者アンケートの結果からは、セーム革の認知性・興味・関心度、今後の新製品情報希望の有無などを訪ねたが、革に関する認知度は低かったものの、関心を持つ人は多かった。</p> <p>●1月30日午後・第2回実行委員会開催 ※昨年度に引き続き取り組んだ JAPAN ブランド事業の総括を行い、パワーポイントを使用してコーディネーターより報告が行われた。 19年度の内容は、コンセプト別に課題を絞った2つの部会運営と今後の商品販売・管理組織の運用に取り組んだ。 ※化粧・エステサロン部会 ・昨年度開発した試作品の継続的テストマーケティングの実施、ビューティーワールド JAPAN WEST・CIDESCO 国際会議出展などを通じた出展結果と評価。パンフレットの改良 ※服飾雑貨部会 ・試作品開発・プロモーションツールの作成・鹿革素材定量データの収集・展示会出展 ※UTANO レザープロダクト ・プロダクト憲章の制定 ・HP の情報更新・パブリシティ対応などに取り組んだ。</p> |
| | <p><担当者のコメント> 東京での展示会(JFW JAPAN CREATION 2008 AUTUMN / WINTER)では、服飾として鹿革の</p> |

特徴を生かした試作品の素材特性をPRする事が出来た。
実行委員会でも指摘を受けたが、今後の展開として、“UTABI エステシリーズ”の販売に力点を置いて取り組まなくてはならない。展示会で商談や名刺交換した方、メールにより紹介を受けた方、など沢山の方々から引き合いを頂いているので、販売体制の整備が出来ると同時にアプローチを心掛けて行きたい。

6. 今治商工会議所（Imabariタオルプロデュース ～「新Towelライフ」の出演～）

＜今月の事業実施状況＞

○ 人材育成委員会開催

日時 1月15日 場所 テクスポート今治

内容 タオルソムリエ資格試験について

・テキスト、試験問題の作成について

○ NHK「クローズアップ現代」で今治タオルプロジェクトの取り組みが放映される。

7. 中芸地区商工会（「魚梁瀬杉」再生プロジェクト）

平成20年1月11日 第6回「Monacca」ワーキングの開催



〃 第4回「新商品開発」ワーキングの開催



＜担当者のコメント＞


今年度の最後のワーキング会を開催して、今年度の総括と来年度の方向性の話し合いを行なった。

平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援事業(1年目)案件:2008年1月分

| 番号 | 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント |
|----|--|
| 1. | 宮城県商工会連合会(NARUKOブランドプロジェクト) |
| | <今月の事業実施状況> |
| | <担当者のコメント> |
| 2. | 梁川町商工会 (JKB ジャパンニットブランドプロジェクト) |
| | <今月の事業実施状況> |
| | <担当者のコメント> |
| 3. | 足利商工会議所 (“足利幕府”プロジェクト) |
| | <今月の事業実施状況> |
| | <p>○1月9日(水)繊維サポート部会による試作品製作のための現地調査を開催。①視察の視点= JAPANブランド事業の推進並びにライフスタイル提案型のショップ見学、販売商品の調査・研究を視点とした。②結果= i. 東京ミッドタウン内THE COVER NIPPONでは、日本製にこだわったライフスタイルショップ。日本各地から集めたファブリックや家具、器、照明を中心にMADE IN JAPANのモノを取り揃えているショップ。今後の足利ブランド開発に参考となるショップであった。ii. 仲御徒町の松坂屋では、フロア全体を統一したテーマ「自然(ナチュラル)」に設定されたショップの見学iii. 根津の豆腐へのこだわりショップ「豆腐 roomdy's」では、自然水(日本名水百選の一つ佐野市の出流原名水を使用した無農薬)、大豆による豆腐料理専門店の見学iv. 千駄木の「今風庵」では、オーガニック(自然食品)料理専門店の見学</p> <p>○1月16日(水)第10回目の繊維サポート部会を開催。報告事項は次の2項目。①前回の会議の議事録の確認②各種新聞記事の紹介。協議事項は次の2項目。①試作品の製作について(それぞれの進捗状況を説明。エコバッグ・パーテーション・レーシーグラスによる行灯・足利銘仙柄の着物・なつめ袋・足袋・カメレオン染めによるこたつカバー・ふくさ・ゴブラン織り・バルーンスカート・座布団②大茶会について(前回の内容若干変更点を説明。銘仙展は、ファッション大使が着用した他展示を行なう。徒然草ストーリー展は、そばがき、干し海老、のしあわびの再現をする。大茶席は2種類の従来型の茶席と婆娑羅型の茶席。</p> <p>○1月22日(火)第11回目の繊維サポート部会を開催。報告事項は次の1項目。①友愛ニュース(会議所ニュース)での広報、地域資源についての紹介 協議事項は次の2項目。①試作品の進捗状況の確認。②大茶会について(全体の会場レイアウトを検討)</p> <p>○1月23日(水)、東京麻布台の外務省飯倉公館において、高村外務大臣が主催する「ジャパン!カルチャ+ハイパーカルチャー」壮行会が開かれた。 この「ジャパン!カルチャ+ハイパーカルチャー」は2月4日から2週間、米ワシントンで開催されるイベントで、狂言や和太鼓など伝統的なものから、アニメやロボットなど現代的なものまで、日本文化を40以上のプログラムを通じて紹介するもの。壮行会には、参加者代表のファッションデザイナーコシノジュンコ氏やトーマス・シーファー駐日米大使のほか、麻生太郎元外相も出席。 今回のJAPANブランド足利幕府プロジェクト事業の一つにコシノジュンコ氏と共同開発した製品(アルミ製のランチョンマット、箸置き、行灯)が、同イベントのディナーパーティーで使われることから、板橋敏雄実行委員長(当所:特別顧問)はじめクックベッセル(株)、丸信金属工業(株)らが招待された。</p> |
| 4. | 糸魚川商工会議所 (日本唯一・糸魚川ヒスイブランド確立事業) |
| | <今月の事業実施状況> |
| | 1/21 13:30~16:30 会議所役員室 |

| | |
|----|---|
| | <p>幹事会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒスイデザイン画コンテスト協力について 地元新作の会場展示を同会場で行う 委員、業者はレセプションへ出席 ・ジュエリーデザインについての勉強会実施 受賞作品を題材にジュエリーデザインについて勉強会実施 ・その他 <p>1/24 13:00～16:00 会議所役員室</p> <p>委員会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュエリーデザインについての勉強会 講師(社)日本ジュウリーデザイナー協会 会長 三木 稔氏 ヒスイデザイン画コンテスト応募作品から見たジュエリーデザインについて 今後の糸魚川ヒスイの商品デザインワークの方向性について 国際的なヒスイジュエリーの取引での、中国の優位性 ・委員会終了後ヒスイデザイン画コンテスト表彰式へ委員出席 <p>その他 随時</p> <p>協力業者により、委員会コンセプトに基づいた試作品のデザイン考案と製造を継続的に行っている</p> |
| | <p><担当者のコメント></p> <p>2月 委員会においてヨーロッパでのヒスイジュエリーの市場性について検討の予定</p> |
| 5. | <p>甲府商工会議所（ジュエリー産地山梨・産地ブランド「koo-fu」プロジェクト）</p> |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>第2回アクショングループ会議</p> <p>1.日時 平成20年1月16日(水)午後1時30分～</p> <p>2.場所 甲府商工会議所2階201会議室</p> <p>3.内容 JAPANブランド「Koo-fuプロジェクト」の事業について</p> <p>第19回国際宝飾展への出展</p> <p>1.日 時 平成20年1月23日～26日</p> <p>2.場 所 東京ビックサイト</p> |
| 6. | <p>静岡商工会議所（静岡家具ブランド推進プロジェクト）</p> |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>◆ヨーロッパ市場調査(現地調査)の実施(1月23日～29日)</p> <p>メゾン・エ・オブジェ(パリ)の見本市を中心に次年度出展のための事前調査およびヨーロッパ市場における家具・インテリアの現状調査を実施した。</p> <p><今後の予定></p> <p>◆第3回委員会開催(2月22日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メゾン・エ・オブジェ(パリ)見本市の事前調査およびヨーロッパ市場の現状調査の報告 ・次年度以降の事業の方向性について |
| | <p><担当者のコメント></p> <p>・限られた事業期間のなか、参画事業者、コーディネーターと事務局が密に連携を取りながら、2月末までの事業のスケジュール管理等をしっかりと行っていきたい。</p> |
| 7. | <p>豊橋商工会議所</p> |

| | |
|---|--|
| (『三河つくだ煮』ブランディング事業—MIKAWA TSUKUDANI COLLECTION—) | |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1月7日(月)第8回 三河つくだ煮ブランディング推進委員会 開催 ● 1月16日(水)第9回 三河つくだ煮ブランディング推進委員会 開催 ● 1月29日(火)第10回三河つくだ煮ブランディング推進委員会 開催 <ol style="list-style-type: none"> 1. 先に決定した「三河つくだ煮」のロゴマークを使った、パンフレット、ポスター、法被、幟、紙袋等PR用ツールの製作について検討し、詳細までを決定。順次、製作に取り掛かる。 2. PR用ツールの一つとして、各社代表商品のサンプルセットの構成を検討、決定し、製作に取り掛かる。 3. 「三河つくだ煮」ホームページの製作に取り掛かる。 4. 国内展示会出展の準備を進める。(3月開催、FOODEX JAPAN 2008) <ul style="list-style-type: none"> ● 1月8日「中日新聞 東三河版」にて「売り出せ三河ブランド」の一つとして紹介される。 |
| | <p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 19年度事業の主要項目である、「三河つくだ煮」としてのロゴマークの制作、それを使ったPR用ツール(パンフレット、ポスター、サンプルセット等々)の製作がやや遅れ気味で、委員会の開催頻度を上げて(1週間に1回)追い込みに入っている。 ●そこで完成したPR用ツールの最初の使用場所が3月開催の「FOODEX JAPAN」となる。 |
| 8. | 瀬戸商工会議所 (『瀬戸・究極のせとものプロジェクト』ブランド確立推進事業) |
| | <今月の事業実施状況> |
| | <担当者のコメント> |
| 9. | 蒲郡商工会議所 (三河繊維製品のブランド確立プロジェクト) |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>・H20.1. 5 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) JAPANブランド育成支援事業の事業報告の内容項目の検討。三河JAPANブランドロゴデザイン打合せ。試作商品の検討日程。ハイムテキスタイル展視察報告会の日程打合せ。</p> <p>・H20.1.30 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)事業遂行打合せ。(於:東京) JAPANブランド育成支援事業の事業報告の内容項目の検討。ハイムテキスタイル展視察報告会の内容項目について打合せ。試作商品の検討日程。次年度海外・国内展示会の内容について打合せ。</p> |
| 10. | 大野商工会議所・勝山商工会議所 (『醗酵によるまちづくりを目指して』) |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月7日 醗酵まつり打合せ 部会長及び事務局にて醗酵まつりの実施に向け協議を行う。</p> <p>1月11日 醗酵まつり打合せ 部会長及び事務局にて醗酵まつりの準備状況確認を行う。</p> <p>1月15日 醗酵まつり打合せ 醗酵まつりの運営計画や担当について、部会長・副部会長と事務局にて検討を行う。</p> <p>1月19日 第12回検討委員会の開催 醗酵まつりの運営計画について協議と確認を行う。</p> <p>1月27日 醗酵まつり開催 勝山市民会館にて午前9時～午後3時実施。 試作品のモニタリング、事業紹介のパネル展示、地域の醗酵食の紹介等行うため、地元展示会を開催。</p> |

| | |
|-----|--|
| | 来場者数 約3000名 |
| | <p><担当者のコメント> 同日に、別会場で開催されていた「年の市」との相乗効果と集客のための取り組みにより、当初予定していた予定者より多くの方が来場し、事業実施効果は充分あったと思う。 モニタリングは好評ではあったが、一度に多くの方が訪れたため混雑し予定の調査票回収が出来なかった。次回実施する場合には実施方法については再検討が必要である。</p> |
| 11. | <p>鯖江商工会議所（本質的本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」の展開）</p> <p><今月の事業実施状況> 展示会 <海外展示会>「REAL JAPAN」ブランド展示発表会 日時:平成20年1月28日(月)～30日(水) 場所:FOUR SEASONS HOTEL georgeV Paris Salon Napoleon 内容:本事業の標的市場は、モノの本質を見極める能力を持ち、かつ歴史や文化に対する高い教養を身に付けており、豊かな経済力を兼ね備えているヨーロッパの知的富裕層である。事業展開として、文化事業としてのイメージを強く打ち出すために、営利主義色の強い大規模展示会は避け、パリの歴史深く、文化的な風格の漂うフォーシーズンズホテルジョルジュサンクにての展示会を上記日程にて開催し、知的富裕層とのネットワーク構築を図る。展示内容は、日本全国から卓越した技術を有する職人たちが「厳選された素材」「卓越した匠の技」「磨ぎ澄まされたデザイン」をコンセプトに、伝統工芸の技術の極を集めて完成された本質的本格的な漆のコレクション試作品(作品)には、天然の木曽ヒノキや日本産漆など厳選素材を使用。鯖江、輪島、山中、京都の漆職人約20人がネットワークを作り、下地や上塗り、漆を磨く呂色などの各工程を分担して作り上げ、一流デザイナーのアイデアを具現化した。展示作品として、「赤い月」と題した漆の家具や摩天楼をイメージしたオブジェの柱状花器など。</p> |
| | <p><担当者のコメント> 1月28日から30日にかけて海外展示会を開催しました。会場の中央に花器を配置し、格調高いイメージを表現。3日間の開催で来場者は300名ほど。「メゾン・エ・オブジェ」の会期中であったこともあり、関係者も多く参加いただき、注目を集めることが出来ました。その中でも、ドイツでの展示会におけるオファーなど今後につながる事案もあり、「REAL JAAPN」の浸透ができたのではないかと思います。</p> |
| 12. | <p>鳥取商工会連合会（INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト）</p> <p><今月の事業実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月11日(金)に第3回JAPANブランド確立支援事業委員会、第11回参画事業者会議を開催。委員会委員が試作品5アイテムを評価し、改良点等を協議した。 ・1月17日(木)から29日(火)までリビングデザインセンターOZONE(東京都新宿区)で「INABA “SHIKIRI”展」を開催。日本の伝統文化である「仕切り」をテーマにした試作品5アイテムを発表し、来場者の評価を募った。アンケート結果を基に、試作品を改良、価格帯を決定する。 ・発表した試作品5アイテムは、下記本会HPをご覧ください。 http://www.inababrand.com/  |

| | |
|-----|--|
| 13. | 内子町商工会・五十崎支所 (Ja Gue Na(ジャゲナ)「和紙を使った生活空間の提案」) |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>◆1月21日(月) 第7回戦略委員会</p> <p>① パリ展示会の報告について</p> <p>12月14日(金)～15日(土) 手漉き和紙商品展示会</p> <p>会場:パリ「IKEBANA DECO」</p> <p>紙漉り和紙タペストリー・紙漉り和紙照明用キューブ・照明用凧(柿渋染め和紙ほか)</p> <p>・額(紙漉り和紙ほか)・その他</p> <p>来場者 約200名</p> <p>日本(和紙)に興味を持つ人は多く、展示商品は概ね高い評価を受けるものの、商品の価格設定に課題を残す。</p> <p>15日には、同会場でパーティーを開催。日本大使館公使、SNBA名誉副会長の赤木曠児郎氏をはじめ、IKEBANA DECOの固定客など、70～80人の来場があった。</p> <p>昨年度のメゾンエオブジェでも感じたことだが、IKEBANA DECOで取り扱っている商品などからも、フランス人の考える「日本」を商品化するのは難しいと感じた。</p> <p>12月13日(木)～15日(土) SNBA(フランス国民美術協会展)</p> <p>—SNBA:日本で言う「日展」の世界版で、世界中の作家がこの美術展の入選を目指している。—</p> <p>正式招待作家 花村えい子氏の作品とコラボレーションさせていただき、額・凧の5点を展示した。また、オープニングパーティーや花村氏のパーティーにも参加させていただいた。その縁で、公使や赤木氏にIKEBANA DECOパーティーに来ていただく。また、花村氏にもIKEBANA DECO会場へ来ていただいた。フランスでも権威あるSNBAへ、協力という形でも参加できたことは、有意義なことであり、ご尽力いただいた関係者へ深く感謝したい。</p> <p>・新しい人のつながりができ、中には五十崎へ来ていただく予定の方もいる。つながりを維持していきたい。</p> <p>② 今後の事業推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業のまとめ(報告書作成に向けて) ・JAPANブランドエキジビションin東京ギフトショー出展について <p><2月5日(火)～8日(金)・東京ビッグサイト></p> <p>◎対応者及び日程の確認(久保委員ほか5名が対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材対応(西瀬戸CATVほか)の日程等確認 (1月29日、上杉委員長ほか) ・パリ視察及び市場調査(2月13日～17日) ・デザイン活用フェア(四国経済産業局)へ出展決定 <2月29日(金)～3月2日(日)・高松市> <p>◆1月29日(火)CATV取材(上杉委員長・佐野副委員長・久保委員 対応)</p> <p>◆1月30日(水)事務的打合せ</p> <p>◆1月30日(水)NHK取材(久保委員 対応)</p> |
| | <p><担当者のコメント></p> <p>戦略委員会では、パリでの展示会報告、合わせて今後の事業推進等について検討する。また、東京ギフトショー出展、デザイン活用フェア出展と、引き続き国内でも展示を実施することとなり、打合せを重ねた。</p> <p>メディアの取材依頼も増え、外部へのPRもできつつある。それに伴い、商品や事業に関して県内外からの問合せが入るようになり、国内向けの対応の確立が急務となっている。</p> <p>パリの展示会で新たにできた人脈で、知り合いに紹介していただく方や、当地へ訪問していただく方もあり、コネクションの輪を大切に、次の機会へつなげていきたい。</p> |
| 14. | 香美市商工会(土佐打刃物 JAPANブランドプロジェクト) |
| | <今月の事業実施状況> |
| | <担当者のコメント> |
| 15. | 大木町商工会(国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト) |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>※J-ブランド専門部会(流通・市場開拓)を1月8日(火)午後2時より開催し、佐々木流通、市</p> |

場部会長 挨拶をし、議長に佐々木部会長より議事は進行し、協議に入り、先ず、(1)今後の事業の進め方について

- ① 「国産い草」ブランド戦略について、先ず、市川先生より「首都圏ブランドターゲット調査」についての、団塊世代（60歳前後の8名）・団塊Jr.世代（30代の8名）の女性を対象とした、全体的な評価の説明をした。

又、清須美先生より、い草製品ブランドに対するブランドモデル(案)等により、先ず、ブランドシンボルとしてのネーミング(案)を、今後のブランドが目指す可能性を見据えたネーミングにすることが、重要である。

ブランドネーミング(案)をA案(3案)・B案(3案)とライフスタイルニーズ等に合った案を提示し、次回の会議に各委員に考えて頂くようお願いした。②「ギフト・ショー」出展について、事務局より、展示会ブースの基本レイアウト(案)について、詳細に亘り説明をした。③「九州ブランドデザイン展」出展について、清須美先生より、4社の特徴ある製品及びブランドイメージの強い製品の出展をお願いしたい旨の説明があり、現在8社(事業場)の出展が予定されている。尚、詳細については、1月10日(木)に出展説明会が開催されるので、詳細未定である。[説明会には、愛智と野田の2名出席予定である]

(2) その他

- ① 「地域資源活用マッチングフェア」展示会出展について、事務局より、詳細な説明をし、4社の

特徴ある製品、会社の概要をパネル展示することで決定しており、製品を1月15日までに、商工会に製品を持参してもらいたい旨の説明をした。

以上の件について、委員会(部会)に諮ったところ全員異議なく可決承認した。

次回の会議は、専門部会(流通、市場開拓)を1月24日(木)PM3:00と決定し、会議は終了した。 < PM2:00 ~ 4:20 >

- ※ J-ブランド専門部会(流通・市場開拓)を1月24(木)午後3時より開催し、佐々木流通、市場部会長より「JBの統一ブランドのネーミング・ロゴマークが必要であると言う」挨拶をし、議長に佐々木部会長より議事は進行し、協議に入り、先ず、(1)『ギフト・ショー出展』のスケジュール等について事務局より詳細な説明をした。

* 2月4日(月) [準備]

* 2月5日(火) ~ 8日(金) [展示会]

* 7名(展示会従事者) * 東京「東京ビッグサイト」

ネーミングとロゴマークの決定

KUSA WAKE に決定した。

(2) その他

- ① 「九州ブランドデザイン展」出展について、事務局より、1月10日の説明会を受けて、詳細な説明をした。尚、ギフト・ショーと1日開催が重なるので、4社には「ブランドデザイン展」出展用製品を製造できないかをお願いした。

* 2月8日(金) ~ 3月2日(日) * 東京「東京ミッドタウン」

- ② 「地域資源活用マッチングフェア」への出展について、事務局より説明をした。

● 1月31日(木) * 福岡市「西鉄グランドホテル」

- ③ 4社の個別巡回打合せ開催について

ギフト・ショー、九州ブランドデザイン展、等の出展製品準備に関しての、最終巡回打合せを開催した * 1月28日(月) 午前9時 ~ 午後4時

* 巡回者(事務局 愛智) * 巡回場所 各事業場(4社)

以上の件について、委員会(部会)に諮ったところ全員異議なく、可決承認した。

次回の会議は、専門部会個別巡回打合会を2月1日(金)AM10:00と決定し、又、実行委員会・運営委員会会議を2月27日(水)PM1:30から開催することで決定し、会議は終了した。 < PM3:00 ~ 5:20 >

<担当者のコメント>



平成19年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

戦略策定支援(0年目)案件:2008年1月分

| 番号 | 実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント |
|----|--|
| 1. | 釜石商工会議所（海産物） |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞ 各参画事業者と個別に打ち合わせを行い、戦略策定に関する意見をいただいた。</p> <p>＜担当者のコメント＞ 2月開催予定の戦略策定委員会にて戦略策定についての方向性にかかる意見を多数いただいた。</p> |
| 2. | 鹿沼商工会議所（切削技術） |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞ 2月21日開催のJAPANブランド推進委員会に向けた準備及び事業報告等のまとめ作業。</p> |
| 3. | みなかみ町商工会（木工加工） |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞ 1月の事業実施状況は、参画事業者、事務局及び行政を含め今までの委員会等で検討した内容のまとめ作業を実施し次年度以降に繋げられるように協議、検討している。</p> <p>＜担当者のコメント＞ 事業も終盤を迎えまとめに入るところだが、今年度実施してきた内容を整理、評価し来年度以降に繋がるような取りまとめをしたいと思う。</p> |
| 4. | 東京商工会議所（豚皮） |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞ 1/17 第3回運営委員会を開催、海外調査の中間報告を行い、先に行った国内調査も踏まえ、戦略策定に向けて意見交換を行った。</p> |
| 5. | 新津商工会議所（花卉） |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞ 報告書のまとめを検討。2月上旬に小委員会、2月18日(月)にセミナーと委員会を開催する予定。</p> |
| 6. | 静岡商工会議所（お茶） |
| | <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>◆EU農薬基準に関する調査〔残留農薬分析調査〕(12月～1月)(随時実施) 参画事業者の関連茶生産業者の茶葉を中心にすでに7検体の調査を実施。今後、勉強会に参加された業者等の中で可能性のある茶葉を随時調査する。また、無農薬栽培だけでなく有機栽培や慣行栽培の茶葉についても比較調査を実施する。</p> <p>◆静岡市内山間地茶園の現状調査及び品質基準調査の実施(1月～2月) 静岡市内の山間地茶園の栽培方法や生産量、無農薬栽培や有機栽培に必要とされる生産コスト等の現状を調査する。これを当プロジェクトを推進していくために必要な茶園とのネットワークづくりや次年度、試作茶を開発するにあたってのブランド品質基準のデータとして活用する。</p> <p>＜今後の予定＞</p> <p>◆第3回委員会開催(2月18日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山間地茶園の現状調査等の報告 ・次年度以降のブランド戦略アクションプランについて |

| | |
|----------------------------|--|
| | <p><担当者のコメント></p> <p>・限られた事業期間のなか、参画事業者、コーディネーター等と事務局が密に連携を取りながら、2月末迄の事業のスケジュール管理等をしっかりと行っていきたい。</p> |
| 7. 東伊豆町商工会（雛のつるし飾り） | |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月18日 実行委員会の開催 JAPANブランドセミナーについて</p> <p>1月23日 JAPANブランドセミナーの開催 人形研究家 藤田順子先生を招いて「つるし飾りの文化・歴史」について学ぶ</p> |
| | <p><担当者のコメント></p> <p>成 果</p> <p>セミナーの開催には60名程の関係者が出席。 稲取地区に伝わる文化を勉強しようと真剣だった。 このセミナーの実施により、商品制作に関わる関心がより深まったと思う。 今回のセミナー出席者より、「今まで女性の仕事でそれなりに回ってきたが、 今回の事業のように男性が入ることにより、より大きな事業として展開していける と思う。期待しています。」との声があった。</p> <p>課 題</p> <p>セミナー欠席の関連事業者に対して普及活動を行っていく予定だが、意識の 統一等が難しい。製作に関わる品質管理や生地の一貫、型紙の一貫等、女性が 中心となって行っている事業なので、取りまとめが難しい。</p> |
| |   |
| 8. 堺商工会議所（自転車・刃物等） | |
| | <今月の事業実施状況> |
| | <担当者のコメント> |
| 9. 紀州有田商工会議所（手袋・靴下） | |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>委託会社での調査を調査中 専門委員会による調査事項を調査中</p> |
| 10. 東広島商工会議所（日本酒） | |
| | <p><今月の事業実施状況></p> <p>1月24日 西条酒ブランド育成委員会経営者プロジェクト会議(第2回) 西条酒JAPANブランド戦略策定(平成19年度事業とりまとめ)について協議し、 第4回委員会に提出することとした。</p> <p>予定</p> |

| | |
|-----|---|
| | 2月4日 西条酒ブランド育成委員会(第4回) 平成19年度西条酒JAPANブランド育成事業とりまとめ |
| | <p><担当者のコメント> JAPANブランド育成支援事業に取り組み始めて、マスコミによる取材依頼、業者からの問い合わせ等々の引き合いが増えた。また、行政や関連事業所等に依頼等する場合、先方が西条酒ブランド化への取り組みを承知している所も多く、円滑に事が進んでいく。本事業に取り組んだことによるPR効果は非常に大きい。事業実施による成果はこれからであるが、採択による恩恵は十分に受けていると感じる。</p> |
| 11. | 人吉商工会議所（焼酎） |
| | <p><今月の事業実施状況> ◎1月11日(金) 第5回セミナー ・講演「球磨焼酎ブランド戦略策定」神戸大学経営学研究科 石井淳蔵氏 ・「市場調査について」(株)酒文化研究所 狩野卓也氏 ・ディスカッション「球磨焼酎ブランド戦略(案)について」</p> <p>◎1月11日(金) プロジェクト実施委員会・幹事会 ・第5回セミナーについて議論。ポストイットを用いた方式により、中身の濃いディスカッションが行われており、充実したセミナーであるという意見が出される。今回のディスカッションで出された意見を基に、酒造組合青年部で戦略を検討し、酒造組合理事会の承認を得て最終的な戦略とすることを決定した。 ・球磨焼酎ブランド戦略報告会は、2月18日(月)にプロジェクト実施委員会で承認を得たあと、セミナー参加者、球磨焼酎関係者、報道機関を対象に行うことを決定した。</p> |
| | <p><担当者のコメント> ・ブランド戦略策定の山場を迎え、関係者の意気込みが強く感じられる。戦略策定のための独自の会合も行われており、残された期間でうまく戦略がまとまるものと思われる。</p> |
| 12. | 佐伯商工会議所(寿司) |
| | <p><今月の事業実施状況> 1月14日～18日 第5回海外調査 対象都市:バンコク(タイ)、シンガポール アジアでの日本食先進都市の視察を行うために、バンコクとシンガポールを訪れた。バンコクは日本人駐在員が世界一多い都市であり、シンガポールは日本との経済的な関係が深い都市であることから、いずれも日本国内と変わらない高いレベルの寿司が提供されていることに驚かされた。また現地のJETROを訪問し、両都市における飲食店を中心とした事業環境についてヒアリングした。</p> |
| | <p><担当者のコメント> 今後は、最後の海外調査として、2月上旬に香港、マカオを予定している。</p> |
| 13. | 宮崎商工会議所（地鶏加工食品） |
| | <p><今月の事業実施状況> 1月16日(水)に「第5回宮崎地鶏ブランド戦略策定委員会ワーキンググループ会議」を宮崎商工会館にて開催し、事業報告書作成について意見交換した。</p> |
| 14. | 宮古島商工会議所（繊維製品） |
| | <p><今月の事業実施状況> 部会で「みやこ布」の今後の展開について議論した。前回より事業主体及び推進母体が課題となっており、目標が定まらない。「みやこ布」については、別途進めている調査からも評価が高く、商品化に期待が大きい。このニーズに対して何とか動きをつくり事業化を進めたいとする意見と、伝統的技法を固守したい考え方に分かれている。対立する意見の中で、方法論は別にして伝統ある「宮古上布」を保存、継承したいとの底流は共通している。このため、視点を「地域産業の新展開」から</p> |

「伝統的産業の継承」に代えることにし、何とか合意形成されつつある。新しい事業者の参入ではなく、伝統的織物従業者が主体となることとし、「宮古上布」と「みやこ布」の保存と展開を有機的に組み合わせて展開すること、宮古島織物組合が当面本事業の推進母体となることを確認、決定した。

＜担当者のコメント＞

「保存」と「新展開」の連携を密にして一体的に推進を図ること、推進母体を宮古島織物組合が分担することで、昨年来の課題がほぼ解決し、平成 20 年度以降の展開を見通せることになった。但し、具体的事業戦略の詰めはこれからであり、2 月に最終の詳細検討を行って戦略計画を確定したい。平成 20 年事業については、担当として「継続」の方針で、会議所執行部及び織物組合と協議中である。

15. 北谷町商工会（琉球ガザミ蟹）

＜今月の事業実施状況＞

○市場調査事業

「ガザミソフトシェルクラブ」食材の可能性を探る

開催日時:2008 年 1 月 25 日(金)午後2時～4時

開催場所:ザ・ビーチタワー沖縄2階会議室

北谷町内のホテル・飲食店のシェフを対象に、シーブランドとしての「食材」の可能性について

① 創作 ②和食 ③洋食 ④中華 について提案いただいた。

地域のブランド化に向けては今後も「可能性」について「地域へのブランド化への周知」が課題である。

＜委員会事項＞

○めんそーれたい(辛子明太子)のブランド化の可能性を調査(地域資源及び地域連携による)ブランド化への期待大

○ブランド戦略講演会の開催

開催日時:2月24日(日)午後3時～6時

開催場所:ザ・ビーチタワー沖縄2階

テーマ「沖縄のブランド戦略の構築」

講師:百瀬 恵夫(明治大学名誉教授)

前泊 盛博(琉球新報 論説委員)

16. 伊江村商工会（シモン合鴨）

＜今月の事業実施状況＞

平成19年度JAPANブランド育成支援事業(戦略策定支援事業)「伊江島シモン合鴨ブランド化事業」での市場調査及び品質確認調査の中間報告書のまとめを行いました。

序章 本事業の目的と概要

第1章 基礎調査

1-1. 伊江村の経済構造や現状の分析

(1) 位置と概要

(2) 地勢・土地利用

(3) 産業構造

(4) 人口構成と税負担

1-2. 伊江村の産業振興の今後の課題整理

(1) マーケティング機能の必要性

(2) マーケティング、物流、商品企画、生産管理、栽培指導、宣伝企画、販路獲得の為の人材育成の必要性と人材の登用

(3) 島内施設の有効活用

1-3. 伊江村の特産品素材(シモン芋)の研究

(1) シモン芋

- 1-4. 伊江村来島観光客層と消費傾向や消費額の確認
- 1-5. 関連上位計画
- 1-6. 島内事業振興の方向性

第2章 商品戦略

- 2-1. ブランドコンセプトの整理
- 2-2. 対象とする市場と顧客の想定
 - (1) 対象市場と想定顧客
 - (2) マーケットポテンシャルの想定
- 2-3. 商品コンセプトの整理
- 2-4. ブランド化策の検討整理

第3章 商品の研究

- 3-1. 合鴨に関する基礎調査
 - (1) 成分や効能
 - (2) 肉、加工品、その他羽毛などの商品と動向
 - (3) 商品流通の形態とマージン
 - (4) 合鴨の肥育管理、解体工程の体系整理
 - (5) 飼料等の肥育に関する項目とコストの整理
- 3-2. 市場性の検討
 - (1) 生産設備及び製造経費の確認と整理
 - (2) 有名レストラン、ホテルとの意見交換
 - (3) 物流コスト
 - (4) パッケージに関する意見交換
 - (5) 戦略価格
 - (6) 販路拡大の条件や方策の整理
 - (7) 販売計画
 - (8) 経済効果の整理

第4章 事業実施体制と組織作り

- 5-1. 事業フロー
- 5-2. 生産組合